

科目区分	専門教育科目	科目名	解剖生理学		科目コード	18S370	担当者	井上 靖久			
対象学生	栄養士コース 1年生		学期区分	後期	単位数	2	担当形態	単独			
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件	選択				
						免許・資格要件	栄養士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
人体の構造と基礎を論理的に理解し、その両者が緊密に相関していることを理解する。また健康の維持の為に環境の変化に対応していることも合わせて理解する。						1. 「 尽心 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現考・創造断力	⑤ 実行体力性・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	人体の基本的構造の理解										
2.	人体の機能と構造の相関の理解										
3.	人体の各系統のつながりの理解										
4.	自分自身の身体と知識の整合性の理解							○	◎		
5.	自分自身の身体と環境との関係性の理解					成績評価の方法と割合					
授業方法						定期試験（90%） 質問への対応（10%）					
毎回、最初にその日の講義の講義の目標を示す。 毎回最後に講義の要点のまとめを行う。 毎回、前回の重要点を質問する。											
準備学修						課題等への対応					
毎回、前回の重要点を質問するので、必ず復習しておく。疑問点があれば整理しておく。各々30分程度要する。						前回のまとめに対する質問を毎回行なうので、準備しておく。					
授業計画											
第1回	細胞と組織										
第2回	体液										
第3回	血液										
第4回	赤血球と酸素解離曲線										
第5回	白血球と免疫										
第6回	心臓の構造と機能										
第7回	循環と血圧										
第8回	呼吸器										
第9回	消化器Ⅰ 消化管										
第10回	消化器Ⅱ 付属器										
第11回	排泄と酸塩基平衡										
第12回	内分泌										
第13回	生殖										
第14回	中枢神経										
第15回	抹消神経										
試験	定期試験を実施する										
教科書	「人体の構造と機能①解剖生理学」 ナーシンググラフィカ最新版 メディカ出版				受講生へのメッセージ	健康の維持や病気の話に直面した時、理解しようとする姿勢が大切です。					
参考書等	なし										